



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和8年 3月18日

豊玉中学校だより No. 33

【E-mail】 matsushita.yoko2@nerima-ky.ed.jp

【URL】 <https://www.nerima-ky.ed.jp/toyotama-j/>

朝の光が少し早く届くようになり、夕方の空の明るさにも春の気配がほんのりと感じられる頃となりました。「三寒四温」や「暑さ寒さも彼岸まで」といった昔の言葉は、この季節の揺れを昔の人は本当によく言い表したものだと感じます。一雨ごとに空気が少しずつ温かくなり、桜の開花も今日か明日かという時季を迎え、春の訪れが、校庭にも静かに感じられるようになりました。

今週は卒業式予行や表彰、そしてセレモニーと、式に向けて気持ちを整える時間が続きました。緊張の中で姿勢を正す場面もあれば、仲間と笑い合う穏やかな表情もあり、三年間の積み重ねが自然とにじみ出ていました。こうした落ち着いた雰囲気背景には、日々ご家庭で支えていただいた時間があるのだと感じています。明日の卒業式と、その後続く修了式が、温かな春の訪れとともに、生徒たちにとっても、保護者の皆さまにとっても、心に残る一日となるよう、教職員一同しっかりと見守ってまいります。

最後の学校だよりは、卒業式を最高の式にするために卒業生、在校生のみなさんをお願いしたい事をまとめたいと思います。

【主役】の卒業生に向けて

- 1 3年間の思いや感謝を込めて素敵な返事を聴かせてください。返事は「私はここにいます。今日、卒業していきます。」というメッセージになります。
- 2 壇上では顔を上げて、胸を張って堂々と【主役】らしく。会場内にいる観衆に自分の成長を魅(見)せてください。
- 3 3年間の喜怒哀楽のすべてを合唱にのせて歌い上げてください。皆さんの合唱は会場を感動に包み込むことができる力があります。
- 4 失敗しても間違っても照れ隠しなどせず何もなかったかのようにしてください。真剣な中での失敗は恥ずかしいことはありません。

【名脇役】になるために（在校生に向けて）

- 1 何があっても笑わない。
卒業生、先生方、友だち、緊張しながら式に臨んでいます。声が裏返ったり、つまずいたりなどといった失敗をしてしまうかもしれません。でもその失敗を決して笑ってはいけません。粛々と式が進んでいるのに雰囲気が台無しになります。また、自分が失敗しても笑ってごまかしたりせず次の行動に移りましょう。ただ、入場や退場の時は盛大な拍手と「笑顔」をお願いします。
- 2 座っている間は動かない。
キョロキョロ周りを見たり、隣の人とおしゃべりなどせず、卒業生の姿を自分の目でよく見て、頭の中に焼き付けていきましょう。姿勢良くまっすぐ前を向いて全身の筋肉を使って動かないようにしましょう。
- 3 集中して動作を揃える。
号令がかからなくても、来賓の方々や卒業生、先生方の動きをよく見て、息を合わせて全体の起立や礼が揃うように集中しましょう。メリハリがあり揃っているほど集団が美しく見えます。
- 4 歌声でバックアップする。
最後に校歌を歌います。その頃卒業生の皆さんは感極まって大きな声でしっかりと歌えないかもしれません。在校生の皆さんが卒業生を歌声でカバーして欲しいのです。卒業生との最後の「競演」です。安心して卒業できるように在校生の力を見せてください。

映画の世界などで「傑作には名脇役あり」と言われます。ぜひ、【主役】、【名脇役】になりきって卒業式を成功させましょう。よろしくをお願いします。最後に、体調の悪いときには無理せず座っててください。決して無理はせず、静かに手を挙げるなどして近くにいる先生方に知らせてください。

☆☆ 保護者・地域の皆様へ ☆☆

令和7年度を大きな事件・事故なく無事に過ごせたことは、ひとえに保護者・地域の皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。次年度以降も生徒たちが安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一同、一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きよろしくようお願い申し上げます。

「先見」する力を高めよう

高等学校の入学選抜試験が終わり、本校の3年生全生徒が無事進路を決定することができました。生徒の皆さんの努力はもちろんですが、保護者の皆様、ご協力いただきました地域の方々をはじめ、関わりのあった全ての方々のご協力や温かいお力添えがあったことは心に留めてほしいと思います。

総合的な学習の時間を通して、1年生では職業探求、2年生では福祉体験、また上級学校調べなどを通して職業観や進路について考えてきました。何事もまずは知ることからです。本をたくさん読んだり、インターネットで調べたり、様々な人と関わったりしながら、授業の時間以外でも将来や夢の実現に向けて模索していきましょう。

夢の実現のためには努力の積み重ねと計画性が不可欠です。毎朝の「先見の時間」を大切に過ごしていますか。1年間が終わろうとしている今、夢手帳を改めて見返してみてください。そこには皆さんの成長も課題も記されているのではないのでしょうか。定期的に自分と向き合い、長期目標・短期目標を掲げながら生活することで、「なりたい自分」の実現に向けて成長してほしいと思います。

また、夢手帳を活用して「先見」する力は、今後の受験や進路選択の際にも生かされます。受験では、多くの手続きの仕組みや提出すべき書類等を理解しなければなりません。また、高等学校の説明会や体験入学等、アンテナを広く張り、スケジュールを立てながら自分が何をすべきか、先を見据えた行動をしていく必要があるからです。

1、2年生の皆さんは、そのことを踏まえて、「先見の時間」の過ごし方や夢手帳の活用について改めて考えてみてください。そして、次のステージに進む卒業生の皆さんは、学習だけでなくこのようにして実現させた進路でさらに活躍してほしいと思います。

まがたまプロジェクト

今年度のまがたまプロジェクトでは、「学級仕舞 5,000 円企画」を実施しました。これは、年度の締めくくりとして、生徒たち自身が中心となって各学級のお別れ会を企画・運営する取組です。1年間同じ学級で過ごしてきた仲間と共に、これまでの日々を振り返りながら、思い出に残る時間をつくることを目的としています。

お別れ会の内容は、各学級で話し合って決めました。1年間の学校生活を振り返りながら思い出を語り合ったり、学級の仲間へ感謝の気持ちやこれからの応援の言葉を書いたメッセージカードを作成して交換したりするなど、心温まる活動が多く見られました。また、教室に飾り付けをして特別な雰囲気をつくり、その中で記念写真を撮るなど、それぞれの学級が工夫を凝らして最後の時間を楽しむことができました。普段の学校生活とは少し違う和やかな雰囲気の中で、仲間とのつながりを改めて感じる貴重な時間となりました。

生徒が主体的に考え、協力しながら会をつくり上げることで、学級のまとまりや互いを思いやる気持ちを、より一層深める機会にもなりました。1年間を共に過ごした仲間との時間を振り返り、感謝の気持ちを伝え合うことは、生徒にとって大変有意義な経験になったと思います。

なお、本企画の実施にあたり、各学級で必要な費用についてはPTAよりご支援をいただきました。温かいご理解とご協力のおかげで、生徒が主体となって充実した活動を行うことができました。

この場をお借りして、心より御礼申し上げます。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。←

←

傑作! 力作! 秀作! 「校内作品展」←

←

3月2日から3月6日まで「校内作品展」を開催しました。教科の作品、「笑顔と学びのプロジェクト」で制作したお茶碗など、様々な作品を鑑賞しました。素晴らしい作品が多く、生徒は今後の授業や制作活動の目標ができ、学習意欲につながったようです。←

また、保護者の方々にもご参観いただき、感想を寄せていただきましたのでご紹介します。←

←

○「どの作品も想像力が豊かで素敵な作品でした。学年が上がるごとに作品の完成度も高く、鑑賞していて見応えがありました。来年も楽しみにしています。」←

○「素敵な作品展でした。美術作品も家庭科の作品も個性に溢れ、見ていてとても楽しかったです。仕事で来られない親御さんがたくさんいると思うので、ぜひ土曜授業の日に実施してほしいです。」←

←

保護者の方のご意見を踏まえて、来年度は土曜日も含めた学校公開週間に作品を展示する予定です。どうぞご期待ください。←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

